



# 北海道教育大学 (北海道)

日本語や日本文化，教育制度，北海道の文化や社会を学習できます。

## ■大学紹介

### ① 大学の特色及び概要

北海道教育大学は，教育学部1学部が5つのキャンパス（札幌，函館，旭川，釧路，岩見沢）に分かれており，日本語・日本文化研修留学生は，札幌キャンパスで学びます。

札幌キャンパスに設置された教員養成課程では，札幌の特色を活かしながら北海道全域にわたって教育現場に密着した教員養成を行います。

### ② 国際交流の実績

国際交流協定教育機関14か国/地域 36大学

### ③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2023年：留学生数 58人、日研生 4人

2022年：留学生数 50人、日研生 4人

2021年：留学生数 13人、日研生 4人



浴衣着付体験と北海道開拓の歴史村訪問の様子

### ④ 地域の特徴

北海道は，日本の最北端に位置し，世界自然遺産の知床をはじめ雄大な自然に恵まれ，食文化も優れていることから，観光地としても有名です。北海道の夏は，台風の影響が少ない上，日本の他の地域に比べると気温が低いため，とても過ごしやすいです。

また，冬は雪が積もり，気温が $-10^{\circ}\text{C}$ 以下になる地域もありますが，スキーや雪祭りなど，冬の楽しみも体験できます。

## ■研修・コースの概要

### ① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

学生の教育，地域性を生かした人材育成，課程との連携を重点として，日本文化・日本事情について深く学ぶ。

b) 主に日本語能力の向上のための研修

北海道教育大学において学習・研究活動を行うために必要な基礎的な日本語能力を身につける。



### ② 研修・コースの特色

本プログラムでは，留学生向けに用意された日本語を学ぶ授業と日本文化を学ぶ授業の両方に参加することができます。全ての授業は日本語で行われており，日本語能力に応じて日本人学生向けの授業の受講を許可されることもあります。

大学の授業に加えて，学生サークル(クラブ活動)に参加することで，日本人学生とのさまざまな交流ができます。また北海道の大自然や文化を学ぶ研修旅行もあります。

### ③ 受入定員

5人（大使館推薦3人、大学推薦2人）

### ④ 受講希望者の資格、条件等

- ・日本以外の大学学部にて在学し，日本語・日本文化に関する分野を専攻し，日本語の初級レベルの学習を終了した者。
- ・日本語・日本文化に関する分野以外の専攻に在籍している場合であっても，日本語・日本文化に強い関心を持ち，継続的に学習している者。

※日本語能力試験N以上取得，又は日本語学習時間数300時間以上が望ましい。

### ⑤ 達成目標

日本語での日常会話がほぼ普通に話せるようになること。具体的には，日本語能力試験N2以上に合格できる能力を身に付けること。

### ⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2024年9月下旬 ～ 2025年8月下旬  
（在籍期間：2024年10月1日～2025年8月31日）

### ⑦ 奨学金支給期間

2024年10月 ～ 2025年8月

## ⑧ 研修・年間スケジュール

9月下旬：渡日  
10月：オリエンテーション  
6月：研修旅行（予定）  
8月：修了式  
8月下旬：帰国

## ⑨ コースの修了要件

決められた日本語教育科目、日本事情・日本文化関連科目の受講（以下⑩を参照）し、プログラムを修了した者には、修了証を授与し、成績証明書を発行します。

## ⑩ 研修・コース科目の概要・特色

### 研修・コース科目の特徴

学習・研究活動を行うための基礎的な日本語を身に付ける「日本語集中コース」（必須科目のa)～e)を履修するコース）、日本語・日本文化・日本社会についての研究を行う「日本研究コース」f)～i)）があります。（日本語能力検定試験N1程度の留学生は日本語集中コースの履修が免除されます。）全ての授業が日本語で行われます。

### 【前半期】（7コマ以上）

-----必須科目-----

#### a) 「総合日本語」

（非N1:10月-2月 週4コマ, N1:免除）

日本語の4技能を総合的に高めるとともに、日本事情に関する理解を深めます。

#### b) 「日本語技能」

（非N1:10月-2月 週2コマ, N1:免除）

日本での生活や学習において必要となる実践的な日本語の能力を高めます。

#### c) 「日本語会話」

（非N1:10月-2月 週2コマ, N1:免除）

様々なテーマについて日本語で会話しながら日本語の能力を高めたり日本についての理解を深めます。

-----選択科目-----

#### d) 一般学生向けの授業

（N1:10月-2月 週7コマ）

一般学生向けの授業の中から必要科目数以上選択して、日本人学生と一緒に受講します。

#### e) 「現代日本文化」

（非N1:10月-2月 週2コマ）

講義とディスカッションを通して日本の現代文化について学びます。

### 【後半期】（7コマ以上）

-----必須科目-----

#### f) 留学生向けの体験型講座

（4月-8月 週1コマ）

日本の文化や社会について実体験を通じて学びます。内容は年度や季節によって変わります。※2023年度は浴衣着付体験、風呂敷講習、北海道開拓の村見学等を実施。

#### g) 日本語文章作成のための講座

（4月-8月 週2コマ以上）

各自が興味を持つテーマについて、小論文を執筆します。それに必要な日本語作文の力を付けるための講座です。

#### h) 日本の文化や社会についての留学生向け講座

（4月-8月 週2コマ）

日本の文化や社会の特色や特質について、講義・講演を聞いて学びます。内容は年度や学期によって変わります。

-----選択科目-----

#### i) 一般学生向けの授業

一般学生向けの授業の中から科目を選択して、日本人学生と一緒に受講します。

## ⑪ 指導体制

責任教員：中川 大（哲学）

国際交流・協力センター

札幌校センター長

協力教員：開設科目担当教員

大賀 京子（日本語教育）

阿部 二郎（日本語教育）

国際交流・協力センター教員

## ■ 宿 舎

留学生用の寮はありません。札幌市内の民間学生寮を紹介いたします。

### ①過去3年間の日研生の宿舎入居状況

大学が紹介した民間学生寮に入居。

### ②宿舎費（月額）

●民間学生寮 62,000円（光熱水料費、食費込み。）

※大学までの通学費用等が別途かかります。

## ■ 修了生へのフォローアップ

修了後のキャリアパス

帰国後に本国の大学を卒業し、日系企業への就職を果たし、日本語を使用して勤務されている方が多数います。

また、本国や日本の大学院へ進学し、日本もしくは日本語に関わる研究をさらに進めている方々もいます。中には日本で就職をしている方や、札幌市の国際交流員を経験した方もいます。

## ■ 問合せ先

<担当部署>

北海道教育大学教育研究支援部国際課

住所：〒002-8501

北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号

TEL：+81-011-778-0928（直通）

FAX：+81-011-778-0675

Email：[g-kokusai@j.hokkyodai.ac.jp](mailto:g-kokusai@j.hokkyodai.ac.jp)

<ウェブサイト>

北海道教育大学：

<https://www.hokkyodai.ac.jp/international/>